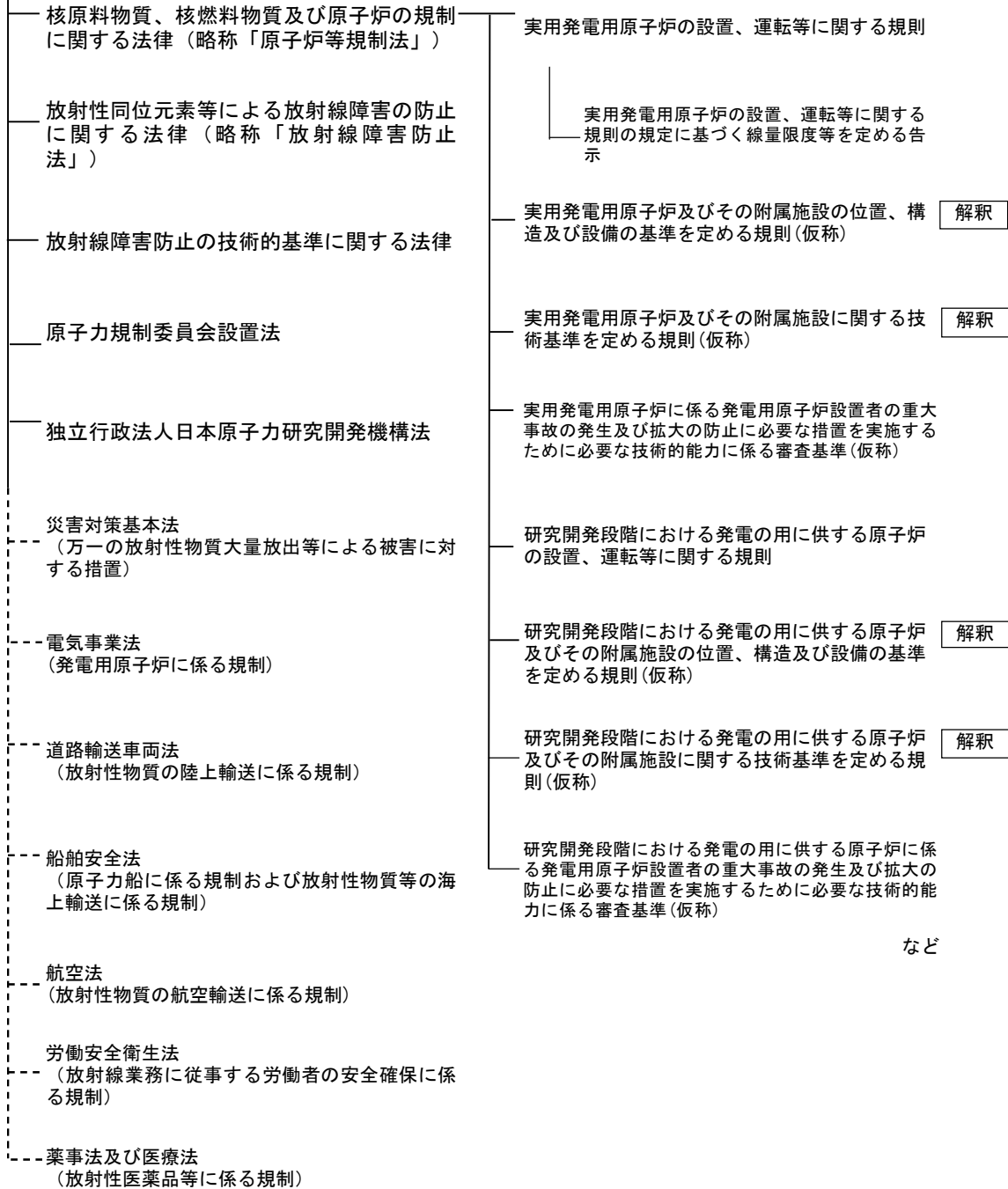


資料 1 補足資料

原子力規制に係る法体系(概要)

☆ 原子力基本法

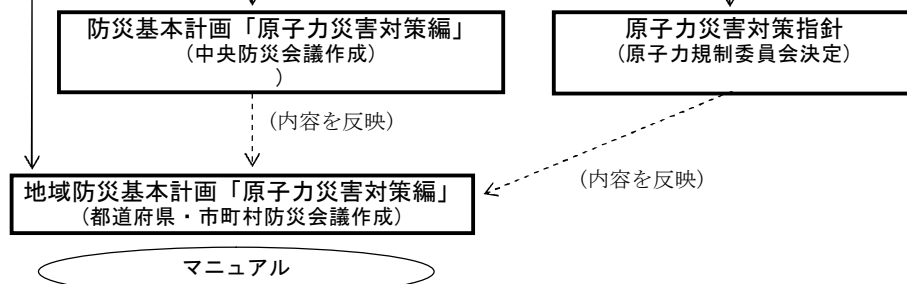


など

特別法

☆ 災害対策基本法

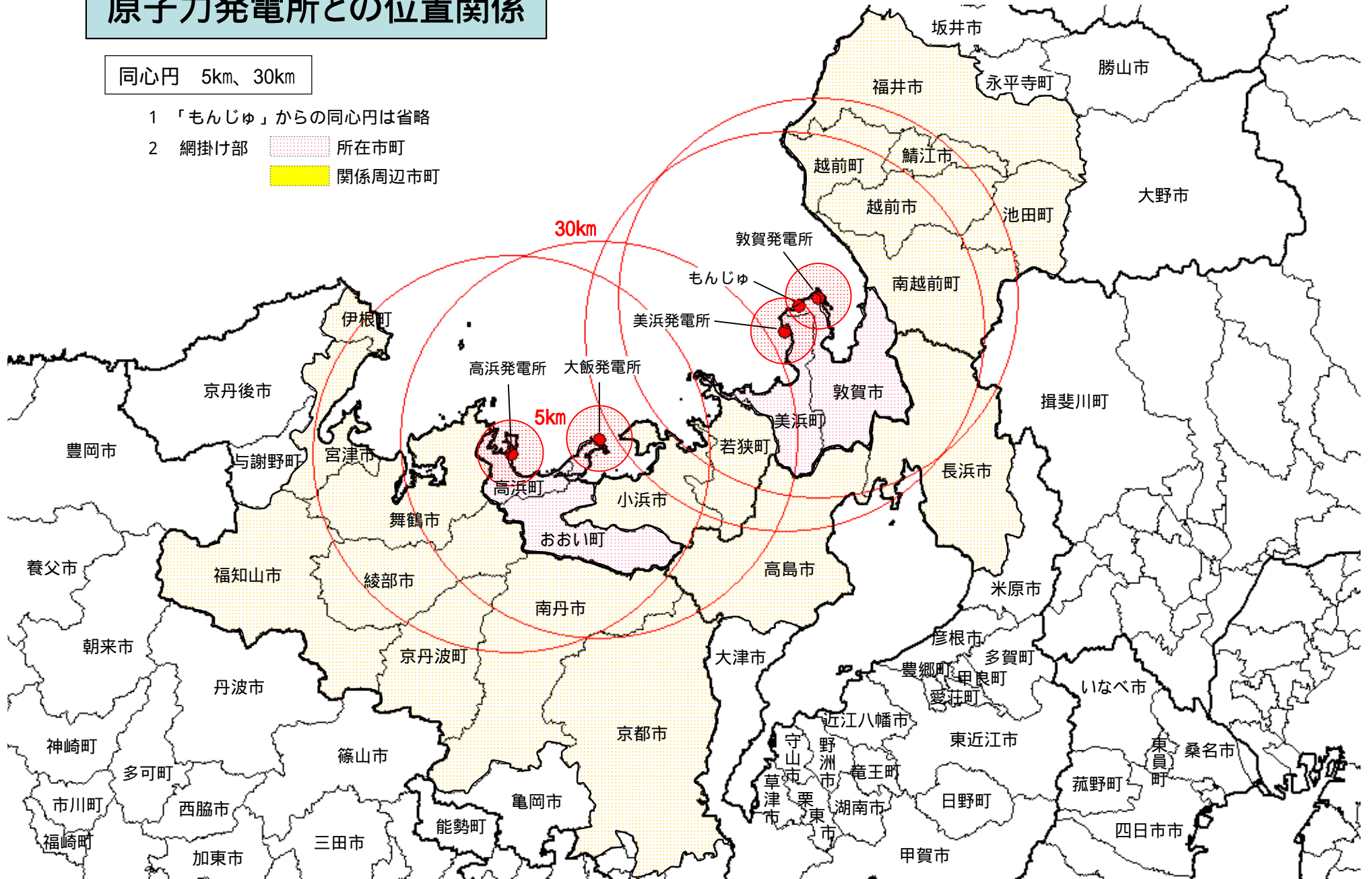
原子力災害対策特別措置法（略称「原災法」）



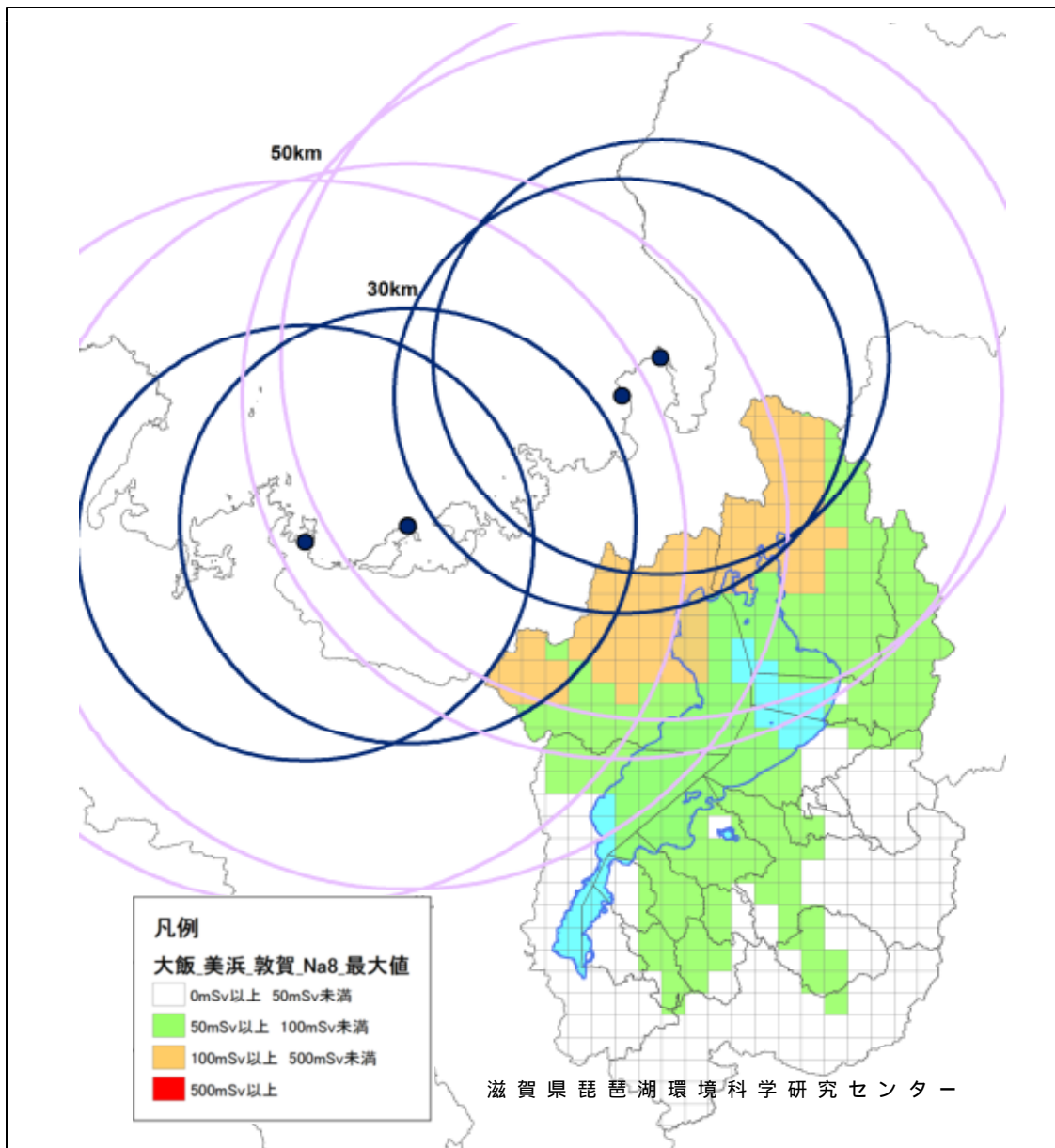
原子力発電所との位置関係

同心円 5km、30km

- 1 「もんじゅ」からの同心円は省略
- 2 網掛け部 所在市町
- 黄色部 関係周辺市町



放射性物質拡散予測結果（甲状腺被ばく等価線量）



予測の前提条件

放出量：ヨウ素 2.4×10^{16} Bq

放出時間：6 時間

排出高さ：第3 層（約44m～73m）

放出想定発電所：日本原子力発電（株）敦賀発電所、関西電力（株）美浜発電所、
関西電力（株）大飯発電所、関西電力（株）高浜発電所

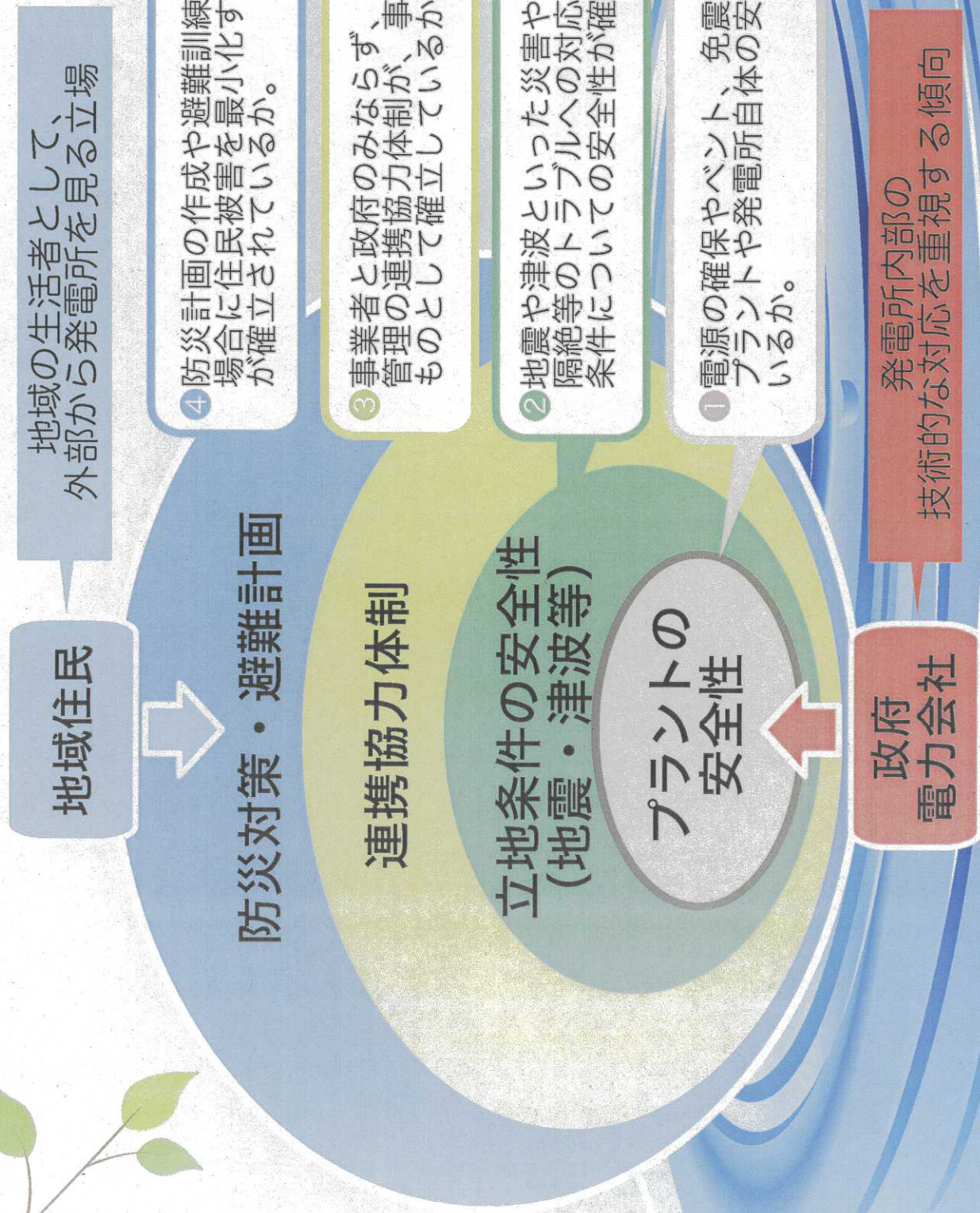
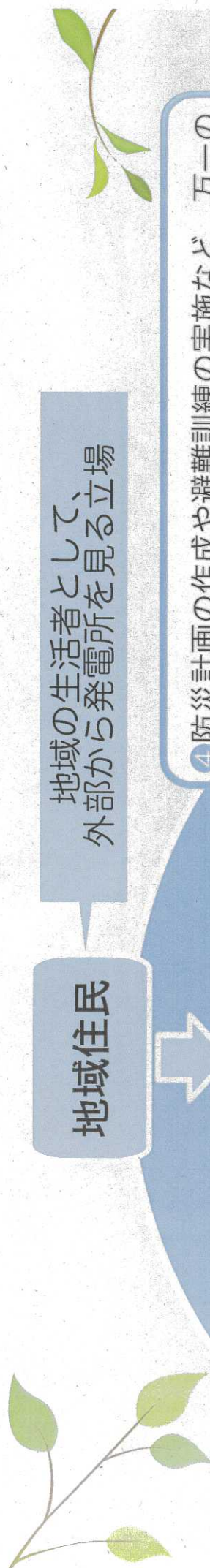
シミュレーション日の選定：2010 年のアメダスのデータを基に、滋賀県に影響が大きくなると考えられる日を選定

積算線量の計算方法：第1層の濃度を用いて計算を行い、1 時間ごとの被ばく線量を計算し、24 時間分を積算。

滞在時間：屋外8 時間、屋内16 時間

図示方法：美浜60ケース、大飯36ケース、敦賀、高浜各5ケース分のシミュレーション結果から最高値となる区域の分布を示す。

原発から地域を守る4重の安全対策とそれぞれの視点



地域の生活者として、外部から発電所を見る立場

④ 防災計画の作成や避難訓練の実施など、万一の場合に住民被害を最小化するための防災対策が確立されているか。

③ 事業者と政府のみならず、地元も参加した危機管理の連携協力体制が、事故発生時に機能するものとして確立しているか。

② 地震や津波といった災害や、降雪による道路の隔絶等のトラブルへの対応など、発電所の立地条件についての安全性が確保されているか。

① 電源の確保やベント、免震重要棟の設置など、プラントや発電所自体の安全性が確保されているか。